〔様式　1〕

# 事 務 事 業 評 価 表

1～11までは、担当課による評価

| 記入年月日 | 平成15年3月12日 | | | |
|---|---|---|---|---|
| 平成１５年度 | 事業コード | 36110 | 電話 | 042-769-8200 |
| 担当部課名 | 企画部 | 広聴広報 課 | | 広報 班 |
| 事務事業名 | 暮らしのガイドブック | | | |

**1 総合計画における位置づけ**

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 政　策　名 | Ⅲ 第 6 章 | 高度情報化への対応を図ります | 事業開始年度 | |
| 基本施策名 | 第 1 節 | 豊かな市民生活を実現する情報化の推進 | 63以前 年度 | |
| 施　策　名 | 第 1 施策 | 情報通信メディアを活用した行政サービスの推進 | | |

**2 実施根拠及び関連法令等**

**3 事務の区分**　自治事務

**4 経費の区分**　その他の経費

**5 事務事業の分類**　市単独事業

**6 受益者負担**　なし

**7 事業概要**

**(1) 事業の目的…何をどのように（どのような状態に）したいのか**

市民生活に密接に関わりのある窓口案内、相談案内、各種制度紹介などを分かりやすくまとめ、「生活便利帳」として、いつも身近な所に置いて利用してもらうために発行する。

**(2) 対象（誰、何）**

市民（1世帯1冊）

対象数　15,000部

**(3) 平成14年度事業の内容…市が実際に行った事業の内容**

14年度は、増刷対応。市民生活により緊急性の高いものなど（防災、医療など）を中心に、一部訂正した。

**(4) 個別計画の概要**

| | | |
|---|---|---|
| 計画名 | | 概要 |
| 計画年次 | 年度～　年度 | |

**8 評価指標…事業の目的達成度を計るための指標**　　15,16年度は目標値

| | 指標名 | 指標式 | 指標設定の意図 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 成果指標 | | | | | | | | |
| 活動指標 | 配布率 | 配布部数／対象者数（発行年は世帯数、改定年は転入者数） | 市民への市政情報提供の公平性を計る | 91 | 100 | 100 | 100 | 100 |

**9 事業費等の年度別状況**　　〔金額単位：千円〕

| | | 平成12年度 決算 | 平成13年度 決算 | 平成14年度 決算 | 平成１５年度 予算 | 平成１６年度 予算（見込み） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業費 | 決算（予算）額 | 27,065 | 2,400 | 2,160 | 16,000 | 2,160 |
| | 人員・時間数 | 2人・8日 | 1人・7日 | 1人・7日 | 2人・14日 | 1人・7日 |
| | 人件費 | 516 | 226 | 226 | 903 | 226 |
| | その他経費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 合計 | **27,581** | **2,626** | **2,386** | **16,903** | **2,386** |
| 特定財源 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 対象数 | | 216,000 | 15,000 | 15,000 | 216,000 | 15,000 |
| 対象の単位あたり経費 | | **0.1** | **0.2** | **0.2** | **0.1** | **0.2** |

### 10 個別評価

| | | | |
|---|---|---|---|
| **(1) 達成度**<br>評 価<br>A | A：達成している<br>B：一部達成していない<br>C：達成していない | チェック項目 | ・成果指標の達成度 ☐ 高 ☐ 中 ☐ 低<br>・活動指標の達成度 ☑ 高 ☐ 中 ☐ 低<br>・事業目標の達成度 ☑ 高 ☐ 中 ☐ 低 |
| | | 説明 | 発行年に関しては、自治会を通して配布しているため、加入していない世帯には、各自出張所等に取りに行ってもらっていた。よって、場合によってはもらっていない世帯もある。改定年に関しては転入手続きをとった際には、その場で渡しているので、活動指標は達成していると |
| **(2) 必要性**<br>評 価<br>A | A：適応している<br>B：一部適応していない<br>C：適応していない | チェック項目 | ☑ ・市民や社会のニーズにかなっている<br>☐ ・状況の変化（対象や内容）に対応している<br>☐ ・当初設定した事業目的が達成されていない<br>☐ ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある |
| | | 説明 | 行政、医療、学校など、かなりの情報をコンパクトに凝縮しており、ニーズにかなっている。 |
| **(3) 有効性**<br>評 価<br>A | A：有効である<br>B：一部有効でない<br>C：有効ではない | チェック項目 | ☐ ・上位の施策、計画目的達成のために有効である<br>☑ ・期待された成果が得られている |
| | | 説明 | 冊子には住所、電話番号も記載されており、開けばすぐに情報が得られると考える。 |
| **(4) 効率性**<br>評 価<br>A | A：優れている<br>B：一部改善の余地がある<br>C：改善の余地がある | チェック項目 | ☑ ・予算や人員に見合った効果が得られている<br>☐ ・他市と比べてコストや効率性が優れている<br>☐ ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている<br>☐ ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない |
| | | 説明 | 市役所に電話で聞く前に、自宅で調べられるという冊子は他に作成していないので、作成に労力はかかるが、それに見合った効果は得られている。 |
| **(5) 公平性**<br>評 価<br>B | A：公平である<br>B：一部公平でない<br>C：公平でない | チェック項目 | ☑ ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である<br>☐ ・受益者の費用負担は適正である<br>☑ ・対象者の設定は適切である（年齢や所得等を考慮している） |
| | | 説明 | これまで配布方法を自治会に託していたため、未加入世帯に行き届かない点があった。今後は、自治会を通さない方法も検討している。 |

| **成果向上の余地** | | **事業費削減のために取り得る手段と削減額** | |
|---|---|---|---|
| ☑ ある<br>☐ ない | 説明：<br>制度など説明を書くだけでは充分でなく、結局問い合わせなければならない項目などは、詳しく書くのではなく、問い合わせとするなど、項目を減らす・余白をなくすなど検討する余地はある。 | 手段 | 既に予算の段階で削減されており、15年度はいかに予算の範囲内でよりよいものを作成するか苦慮しているところである。手段としては、使用するカラーを減らす、内容を端的にし、ページ数を減らすなどが考えられる。 |
| | | 削減額 | 0 千円 |

### 11 総合評価

| | |
|---|---|
| 評 価 | AA<br>★★★★☆ |
| **今後の進め方** | |
| ☑ | 継 続 |
| ☐ | 見 直 し |
| ☐ | 廃 止 |
| ☐ | 完了・廃止済 |

**他自治体の類似事業との比較**

**総合評価に関する説明**

暮らしのガイドブックに対する市民のニーズは多く、新しい物（改訂版・増刷含む）作成直前には、残部が少ない状況である。ゆえに継続はもちろんすべきであると考える。なお、現在作成している暮らしのガイドブックは余白も多めにあるため、レイアウト等検討し、コンパクトかつ予算内で収まる物を作成しなければならない。

### 12 二次評価コメント

| |
|---|
| |